

学校関係者評価報告書 (平成30年度)

校訓

規律 創造 実践

学校法人 新潟総合学院

新潟デザイン専門学校

N C A D

NIIGATA COLLEGE OF ART & DESIGN

※注記

「学校自己評価報告書」を元に、平成30年3月22日(木)に学校関係者委員会を開催し委員からの指摘事項を学校自己評価報告書に追記し「学校関係者評価報告書」にまとめたものである。

目次（評価項目一覧）

1. 教育理念・目標

- 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- 学校における職業教育の特色は何か
- 社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか
- 学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか
- 各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか

2. 学校運営

- 目的等に沿った運営方針が策定されているか
- 運営方針に沿った事業計画が策定されているか
- 運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
- 人事、給与に関する規定等は整備されているか
- 教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか
- 業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
- 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
- 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

3. 教育活動

- 教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか
- 教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
- キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
- 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか
- 関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか
- 授業評価の実施・評価体制はあるか
- 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
- 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか
- 関連分野における業界等との連携に置いて優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか
- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか
- 職員の能力開発のための研修などが行われているか

4. 学修成果

- 就職率の向上が図られているか
- 資格取得率の向上が図られているか
- 退学率の低減が図られているか
- 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善にかつようされているか

5. 学生支援

- 進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- 学生相談に関する体制は整備されているか
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- 学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- 課外活動に対する支援体制は整備されているか
- 学生の生活環境への支援は行われているか
- 保護者と適切に連携しているか
- 卒業生への支援体制はあるか
- 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

6. 教育環境

- 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- 防災に対する体制は整備されているか

7. 学生の受入れ募集

- 学生募集活動は適正に行われているか
- 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- 学納金は妥当なものとなっているか

8. 財務

- 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- 財務について会計監査が適正に行われているか
- 財務情報公開の体制整備はできているか

9. 法令等の遵守

- 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか
- 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- 自己評価結果を公開しているか

10. 社会貢献・地域貢献

- 学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか

1. 教育理念・目標

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
学校の理念、目的のもとに特色ある職業教育が行われているか	4
社会経済のニーズをふまえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像は・特色・将来構想などが学生・保護者に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材象は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか	3

(2) 現状

当校では教育理念、教育目標を掲げ人財育成を行っている。

人材・・・実績はないけど成長が期待できる人。普通の人。

人財・・・実績もあり成長が期待できる人。企業的に欲しがられる人。

社会に貢献する精神を持ち合せた人財と第一線で活躍できる人財を育成することにより、県内・外及び世界から本校で学ぶ意義につなげ、充実したカリキュラムの実現と国際的に通用する人財を育成する。

【教育理念】

高度な技術・技能・知識を身に付けた人間性豊かな人財を育成する。

【教育・人材育成目標】

- ① 規律・約束を大切に社会人・職業人となる人財を育成する。
- ② 実力の証明として高度なコンテスト受賞を目指す。
- ③ 業界人として活躍できる知識・テクニックを身につける実学を重視する。
- ④ 大きな夢・目標に向かって進む人財を育成する。
- ⑤ 国際交流に力を入れ提携校との更なる交流を深め、ワールドワイドで活躍できる人財を育成する
- ⑥ 実社会のニーズにあったカリキュラムの実施による即戦力としての活躍できる人財育成をおこなう。
- ⑦ 多くの刺激的な体験で培った夢を発信する為に、社会に通用できる豊かなデザイン感性を引き出し「表現力」を育てる。
- ⑧ 産学連携（企業とのコラボレーション企画を含む）に力を入れ、スキルアップを目指した業界でのインターンシップ教育を実践する。

● 当校の教育の特色として以下の点が挙げられる

- ・ 産学連携教育やコンテスト入賞を重要としたカリキュラム構成である。
- ・ 職業力を高めるための、企業等と連携したインターンシップやデザイン制作等の職業実践型授業を行っている。
- ・ 豊かな人間性を養うために地域行事への参加や、ボランティア活動などを実施している。
- ・ 国際的な視野を養うため、海外研修を実施し海外教育提携校との交流を必修化している。
- ・ 海外教育提携校からの短期留学生受け入れも行ない学生交流が活発化している。

- 教育理念や教育目標は学生には入学当初に配布する「学生必携」に記載し、新入生オリエンテーションにて周知している。また、進級生に対しても始業オリエンテーションにて再認識を図り、保護者には保護者会にて説明を行い、欠席者に対しては資料を送付し周知を図っている。

(3) 課題と改善方策

- 各学科の教育目標を明確にしているが、今年度も学科や担当者によつての目標達成に差がある。今後もカリキュラム編成や目標達成の仕組み作りを検討する。
- 企業連携のインターンシップが増え、より実践的な経験ができスキルアップに繋がっているので、より明確な運営システム作りが必要である。
- 海外教育提携校からや海外留学生の正規留学生受入れの為のシステム作りが急遽必要である。
- 毎年、県内の高校生的人数は減少しているので、今以上に県外からの入学者を増やす必要がある。本校にしかない学科の検討が必要である。
- 本校のウリををもっと明確にしなければならない。
- 保護者への連絡が遅くなる事もあるので改善する。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- ここ数年は主体性に欠け、且つコミュニケーションが取れない学生が多くなっている。
- コミュニケーション能力は必要であるが、話す事が上手いのではなくプレゼン力（魅せる力）や熱意を持った人材育成をお願いしたい。
- 今後はアクティブラーニングを取り入れた授業を積極的に実施してほしい。
- 国際交流には積極的な学校であると思うが留学生数が少ない。国際化されたキャンパスを目指し、多くの留学生が入学したくなるような魅力ある学校作りとアピールが必要である。
- 教職員の意識の差やチームワークに問題があるのでこの指摘があったので改善する。

2. 学校運営

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4
人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
業界や地域社会に等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(2) 現状

- 運営方針は学校長によって作成されるビジョンシートに明記され、全教職員に周知される。
- 学校の運営については、学則および諸規定によって明確化されており有効に機能している。
- 教職員による運営組織については組織図、校務分掌を毎年作成することで明確化している。
- 教務・財務等の組織整備など、法人全体の重要事項については、理事会・評議委員会が組織され、定期的な運営状況の報告を行っており、不定期に発生する法人全体に関わる重要事項についても、理事会・評議委員会を開催して意志決定がなされている。
- 校内においては教職員会議を定期的に行い、必要に応じて重要事項の協議あるいは周知を図っており、組織としての意志決定を効率的に行っている。
- 人事、給与については法人の就業規則並びに諸規定によって規定されている。
- 教育活動等については当校 Web サイト等により情報公開に努めている。
- 情報システムとしては、学籍管理システム、財務会計システム、予算検討システム、学校業務支援システム（学生納付金の管理等）等により効率的に運用されている。

(3) 課題と改善方策

- 教育活動報告が学科によって公開が少ない。常に各学科担当者には掲載の意識を持つように伝えている。
- 運営方針を定期的に再確認し学校の現状を全員で共有する必要がある。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 教育活動等は Web 上のブログや YouTube、instagram で定期的に更新されており評価できる。但し、前回同様に頻繁に更新する学科と消極的な学科の差が激しく改善されていない。良い実績が多いのもっと自信を持って公表してほしい。
- YouTube について、画像処理の工夫や動画の長さの改善への指摘があった。

3. 教育活動

(1) 自己採点

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方策などが策定されているか	4
教育理念、育成人材象や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が実施されているか	4
関連分野における実践的な職業教育が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力の育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修などが行われているか	4

(2) 現状

- 教育課程の編成・実施は教育理念、教育目標を踏まえた上で、学科長を中心に策定される。明確に定められた学科教育目標に沿って体系的に編成されている。
- 実践的な職業教育として、企業と連携したインターンシップ等の職業実践型授業で行っている。
- 授業評価については前期・後期の各期に1回、年間2回の学生授業評価アンケートを行っている。結果は担当教員にフィードバックされ授業の改善に反映されている。
- 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められており、「学生必携」に記載され学生に周知されている。
- 資格取得については、本校の場合は検定試験に該当するが、カリキュラムの課程認定を進めることで体系的に位置づけ取得しやすい体制を整備している。また、資格取得を支援している。
- 教員の資質向上については、専任講師等は学校法人主催の研修会を積極的参加を奨励している。また、各団体や各社団法人主催の研修にも非常勤を含め積極的に参加し、常にスキルアップに取り組んでいる。本校内でもOJT研修を実施し資質向上に努めている。

(3) 課題と改善方策

- 授業評価については年間2回の学生授業アンケートを行なっているが、毎回同じ教員の評価が悪い。担当教員にフィードバックし個別面談や改善の為の授業見学での指導を行なっている。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 毎回同じ教員の評価が悪いとあるが、教員としての資質が問われていると思うので早急に改善するようにとの指摘があった。

4. 学修成果

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	5
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(2) 現状

- 就職部長及び就職相談室長を配置し、法人の関連部署、ハローワーク、業界、卒業生等との連携を図り、求人獲得、就職支援を行っている。
- キャリア教育として、業界関係者、業界で活躍する卒業生等による講演を毎年開催している。また、就職に向けた動機付けや業界研究等を行う宿泊型の研修も毎年実施している。
- 検定対策合宿や対策授業を放課後実施し検定資格取得率向上に努めている。
- 検定合格目標を常に掲げ、担当者による分析やミーティングにより検定資格取得率向上にも努めている。
- 遅刻・欠席学生の状況については、週一回の教務ミーティングで学科長からの報告により把握、共有されるが、教務部長への退学抑止対象者を毎日の報告も義務付けている。特に無断欠席の場合は、クラス担任は当日中に学生及び保護者宛に確認の連絡を入れ状況の把握に努めている。また、学科長による学科運営に併せて、学生の生活上の諸問題等についても、必要に応じて個別面談等を実施し退学率の低減に努め成果を上げている。
- 卒業生については校友会が組織され、校友会との連携により卒業生の動向を把握している。校友会では各学年より1名の実行委員が選出され、名簿の作成や同窓会等の校友会活動が実施されている。また、校友会会長との定期的なミーティングと校友会との共同開催による年一回のイベント（クリエーターズマーケット）を開催し密な連携を図っている。

(3) 課題と改善方策

- 校友会会長及び副会長の任期が長い為、早急に現状の役員を招集し今後の体制について会議を行なう予定であったが、会長の長期病気療養のため延期になり、その後は実施していない。但し、副会長とは定期的に打合せを行っている。
- 毎週末の教務部会での退学抑止者の情報共有報告で互いに対応策の検討を行い良い結果につながっている。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 今回も退学抑止に努めている教職員の努力に対して高評価を頂いた。今後も在学生の将来の目標実現に向けて指導を行なう。

5. 学生支援

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	5
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(2) 現状

- 進路・就職相談について、主に就職相談室長及び各担任が窓口となり本人の希望や業界とのマッチング等に配慮し個別指導を行っている。また、学科及び学年ごとにクラス担任・副担任を設置しており教務部長を含め、進路・就職相談や学生の生活上の諸問題等について、必要に応じて個別面談等を実施している。
- 財団法人日本産業カウンセラー協会による学校訪問対面カウンセリング制度、新潟リハビリテーション病院での院内対面カウンセリング制度を整備し学生相談に対する体制を整備している。
- 経済的な支援体制については、特待生制度、法人独自の奨学金制度、納付金の延分納制度等を整備している。また、事務局に担当窓口を設け、教育ローンや奨学金活用の相談を受け付けている。
- 年1回(3月)に保護者会を開催している。学科長及び担任との個別面談を実施し保護者との連携を図っている。また、保護者アンケートも年1回実施し改善に努めている。
- 卒業生に対しては校友会を通じて求人情報等の各種情報を提供し、本校内でも年間を通して就職支援を行っている。
- 全国の専門学校では唯一の NSG 美術館を運営・管理を行っており、卒業生の展覧会も実施した。今後は在校生の作品展も開催して行く。
- 県内外の小・中・高校を対象に講師の派遣による授業の実施、又は本校での職業教育授業を実施している。

(3) 課題と改善策

- 引き続き、保護者との連携を強化している。毎日の欠席者(本人又は保護者)への連絡は必ず実施しているが、深夜の連絡になる場合もあり教職員の労働に問題が生じる場合もある。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 美術館の運営・管理を専門学校が行なっているのは非常に評価できる。今後は在校生と卒業生が気軽に活用できる様にできないかとの質問があった。但し、美術館運営上、少しでも収入が必要であるので検討することになった。

6. 教育環境

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

(2) 現状

- 実習室（アトリエ・工作室・クラフト室・ジュエリー室等）やCG制作ルームを完備し、作品展示施設（ギャラリー）も校内に設置している。実習室は教務担当者が管理し安全確保に努めている。また、NSG美術館も管理・運営を行なっているので学生作品の発表の場として検討する。
- 学生法人が所有する研修施設においては、検定対策授業、就職研修、モチベーションアップ研修等を宿泊研修として実施している。
- 当校では教育目標の達成のために、海外研修（異文化研究）を実施し、渡航前の授業（異文化を学び）にも力を入れている。特に海外教育提携校を訪問し、教職員及び学生との交流・授業・共同作品制作等も実施している。
- 課外授業やインターンシップでは、企業担当者との十分な打合せをもとに実施している。
- 避難訓練及び始業時に防災に関するオリエンテーションを実施。緊急時の各教職員の役割を書面にて明確化し、半年に一度の防火責任者主導で防災時（緊急時）対応ミーティングを実施している。
- 避難場所の周知徹底を行い安全に避難できるようにしている。
- AEDを設置し教職員対象の講習会を実施している。
- 教職員及び在校生全員が防災グッズを所持し緊急時に備えている。

※別紙参照（避難誘導の原則及び消防計画）

(3) 課題と改善方策

- 避難場所に関して、地震の場合の避難時道路の破損や混雑を考慮し校舎横の駐車場を使用できないかを地権者に相談を行なっている。
- 緊急避難時の優先持ち出し書類等の再確認が必要である。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 長期に渡り海外教育提携校との積極交流は評価できる。また、海外でのチャリティ作品展開催が6年も継続されており、国際交流の観点からも非常に評価できる。
- 海外研修においても、出発までは毎週授業を実施し訪問国の歴史・文化・教育・経済等も学ぶ事に対しても評価できる。
- 防災に関する危機管理は最も重要である。全非常勤講師に対しても年2回以上は危機管理研修を継続してほしい。

7. 学生の受入れ募集

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

(2) 現状

- 学生募集については、パンフレット、学生募集要項を毎年作成し入学希望者に配布している。また、毎週土曜日や夏休み期間にオープンキャンパスを開催し、学校・学科説明や授業体験等を実施し当校に対する理解を深めてもらっている。特に業界関係者や卒業生の業界トークも開催している。その他、県内外の高校訪問や校内ガイダンス・会場ガイダンスによる学生募集活動も実施している。
- 進路状況・各種コンテストの入賞情報・産学連携報告等の教育成果は、募集パンフレットやWebサイトでの公開や及び SNS で発信を常に行なっている。
- 学納金は無駄を省く工夫を考え年々改善する努力を行なっている。

(3) 課題と改善方策

- 教育成果は毎年アップしているがアピール不足を痛感している。再度、今以上に積極的にアピールをする必要がある。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 学外の業界関係者による業界トークは高校生のみならず在校生も参加できる事は評価できる。今後も継続してほしい。

8. 財務

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	5

(2) 現状

- 法人として健全な財務状況となるべく中長期で収支計画を立てており、適切に外部監査を受けている。

(3) 課題と改善策

- 現状で直ちに改善しなければならない大きな問題はないが、18歳人口の減少や高校新卒者の就職率など外部要因の変動による収支への影響に耐えうる財務基盤の構築を行っていきたい。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 特になし。

9. 法令等の遵守

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
自己評価結果を公開しているか	3

(2) 現状

- 法令、設置基準の遵守について、所轄官庁との対応は法人本部で窓口となり一括して行っている。また、所轄官庁等からの通知についても法人本部を通じて学校に通知され、教職員に周知されている。
- 個人情報の保護に関する規則は明文化されており、学生必携に記載され学生へも周知されている。
- 教職員へのアンケート等も踏まえた自己評価を実施し、問題点については順次改善に取り組んでいる。平成 25 年度からは学校関係者評価委員会も設置し、自己評価の妥当性、透明性の向上を図っている。
- 本報告書については、当校の Web サイトに掲載して広く公開している。

(3) 課題と改善策

- 掲載のタイミングが遅くなっており改善する。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- 情報公開は早めにとの指摘があった。

10. 社会貢献・地域貢献

(1) 自己採点 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	2

(2) 現状

- 毎年、自治会活動へのイベント告知協力等、地域貢献活動を行っている。
- アルビレックス新潟（Jリーグ）のホームゲーム・地元の団体活動の記録写真担当、各種イベントでの似顔絵協力などを行なっている。
- 県内中学校の上級学校訪問（総合学習）にてデザイン分野の体験・職業紹介を実施している。

(3) 課題と改善方策

- 積極的に地域に対しての公開講座・教育訓練等を開催しなければならない。次年度以降も検討案件として考えている。
- 学科によってボランティア活動が少ないので、積極的に参加を促すよう担当学科教員の指導を行って行きたい。

(4) 学校関係者委員会からの指摘事項

- アルバイトや創作活動、課題制作に時間取られ、ボランティア活動に参加できない事は理解できるが、社会的貢献もこれからの人生には良い経験なので推進してほしい。
- 休日や夜間の校舎解放や講座の開設ができないかとの質問があったが、スタッフの労働管理の問題等で現状は難しい。